千葉労災病院精神科研修プログラム
（木更津病院）

１ 研修プログラムの目的及び特徴

厚生労働省の卒後研修要綱を基に、千葉労災病院卒後臨床研修管理室が作成したプログラムである。

精神保健・医療を必要とする患者やそのニーズに沿った対応を身につけるために、地域に根差した民間の精神科単科病院の協力・指導のもと、精神症状の捉えかた、精神疾患に対する初期対応、治療の実際を学び、将来の専門性に関わらず精神疾患のプライマリケアを意識した臨床能力および技能を習得する。また精神疾患だけでなく、医療の場面における生物・心理・社会的側面に加え発達過程にまで配慮した全人的な見立て方を経験し、対人援助職としてのコミュニケーションの重要性や効果についての技術を学ぶ。

２ 研修プログラム責任者

松本　正成（千葉労災病院 卒後臨床研修管理室長）

研修指導医

山内　厚史（千葉労災病院　精神科副部長）

３ 研修実施責任者

関根　　博（木更津病院　院長）

４ 教育課程

１）研修期間　４週間

２）研修配置予定研修医の希望により協力病院の手配の元、研修管理室が決定する

３）研修内容と到達目標

⑴一般目標（GIO）

精神疾患における症状の捉え方、診断、治療方針のたて方まで、プライマリケアに対応できる知識技能を習得する。

患者の生物心理社会的側面に発達過程を加えた全人的に見立てる習慣を理解し、信頼感のもたれるコミュニケーション技術を身につける。

（２）行動目標（SBOs）

①認知機能、気分症状、精神病症状について、専門用語を用いてカルテ記載ができる

②患者ならびに家族から困りごとや社会背景を聴取することができる

③鑑別診断を踏まえて、診断基準を参照することができる

④精神保健法に基づく入院形態について説明できる

⑤科学的根拠に基づく治療方針を立てることができる
⑥精神疾患や患者に対する偏見や差別なく真摯な態度で接することができる
⑦年齢や発達に応じた社会資源について説明できる
⑧リエゾンコンサルテーションを経験し、対応方針を提案することができる
⑨自分自身のコミュニケーションの特徴を理解することができる
⑩医療面接における傾聴、共感、受容などのコミュニケーションについて説明できる

（3）週間スケジュール例

	午前	午後	夕方
月曜日：	病棟・外来	デイケア	
火曜日：	病棟・外来	デイケア	カンファレンス
水曜日：	病棟・外来	デイケア	
木曜日：	病棟・外来	デイケア	
金曜日：	病棟・外来	デイケア	

上記に加え、クルズスを随時、アルコール依存ミーティングに一度参加

５ 学習方略（LS）

(1)　病棟研修　SBOs：①－⑥　⑧
入院患者の診察・回診を行い、症状の評価・治療計画に参加する

(2)　外来研修　SBOs：①－⑥
外来初診患者のインテーク面接を行い、指導医の診察に陪席し、診断・治療計画に関わる

(3)　講義　SBOs：④⑤⑦⑨⑩
精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等のコメディカルによる講義をうけ、精神保健福祉法、心理面接・心理検査の適応や評価、デイケアなどの地域連携について学ぶ

(4)　実技　SBOs：⑨⑩
医療面接や心理療法について DVD や講義で学んだものをロールプレイや患者との面接の中から学習する

６ 評価(EV)

SBOs	目的	対象	方法	時期	測定者
①②⑧⑩	形成的	知識・技能	実地観察、口頭	中・後	指導者コメディカル
⑥⑨⑩	形成的	知識・解釈	実地観察	中・後	指導者コメディカル
③④⑤⑦	形成的	知識・解釈	口頭	中・後	指導者コメディカル

研修医の評価
①研修医は PG-EPOC により自己の研修内容を記録、評価する。
②実施責任者および看護師を含むチーム医療のスタッフが、研修医の診療および研修態度を PG-EPOC に準じた評価表を用いて評価する。
③病歴や治療経過の要約を作成し研修指導者及び研修実施責任者より指導を受け完成させる。研修管理室にて最終評価を行う。
④研修指導医は協力病院での研修中にフォローアップの時間を持ち、研修の到達状況の把握と不足がある場合に捕捉指導を行う。
⑤各評価をもって 2 年目修了前に研修管理委員会にて総括的評価を行い、修了判定の資料とする。

初版：令和 4 年 1 月 24 日
改訂：令和 7 年 2 月 28 日
令和 7 年 7 月 1 日
令和 8 年 10 月 1 日